

2020年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月12日

上場会社名 株式会社イトクロ 上場取引所 東
 コード番号 6049 URL https://www.itokuro.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山木 学
 (役職名) 代表取締役 (氏名) 領下 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 佐藤 大輔 TEL 03-6910-4537
 四半期報告書提出予定日 2020年6月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年10月期第2四半期の連結業績（2019年11月1日～2020年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第2四半期	2,011	—	601	—	603	—	△41	—
2019年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2020年10月期第2四半期 △41百万円（－％） 2019年10月期第2四半期 ー百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第2四半期	△1.99	—
2019年10月期第2四半期	—	—

（注）1. 2020年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年10月期第2四半期の数値及び四半期増減率については記載していません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第2四半期	8,571	7,980	93.0
2019年10月期	—	—	—

（参考）自己資本 2020年10月期第2四半期 7,968百万円 2019年10月期 ー百万円

（注）2020年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年10月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	0.00	—	—	—
2020年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年10月期の連結業績予想（2019年11月1日～2020年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	—	1,300	—	1,300	—	396	—	18.91

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 業績予想の修正につきましては、本日（2020年6月12日）公表いたしました「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
 3. 2020年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社センジュ、除外 1社 （社名）
（注）詳細につきましては、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期 2 Q	22,680,000株	2019年10月期	22,680,000株
② 期末自己株式数	2020年10月期 2 Q	1,737,721株	2019年10月期	1,742,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年10月期 2 Q	20,941,512株	2019年10月期 2 Q	20,890,168株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、国際情勢の不安定により先行きは依然として不透明な状況となっています。また、直近における国内外経済は新型コロナウイルス感染拡大により急速に悪化しており、予断を許さない状況となっております。このような経済状況の中、当社グループでは教育業界を主要業界とするメディアサービスを通じて企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当社グループが事業展開する主要マーケットの1つである教育業界では、個人向けを対象としたeラーニングや映像配信講座と個別指導を組み合わせた学習サービス、また難関校の進学に特化したサービスを提供する個別指導塾の増加、企業のグローバル化に合わせた語学学習ニーズの増加等を背景に、効果的且つ効率的なマーケティング手法へのニーズの高まりにあわせ、インターネット広告への出稿比率が増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,011,589千円、営業利益は601,938千円、経常利益は603,202千円となりました。一方で、減損損失の計上に伴い、親会社株主に帰属する四半期純損失は41,570千円となりました。

なお、当社グループはインターネット・メディア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っていません。当第2四半期累計期間におけるサービス別の売上高は、メディアサービスでは1,975,931千円、コンサルティングサービスでは35,657千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,571,883千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が7,339,919千円、のれんが486,854千円、売掛金が297,089千円であります。

負債は591,205千円となりました。主な内訳は、買掛金が82,474千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が78,825千円、流動負債のその他に含まれる未払金が96,951千円、未払法人税等が190,479千円、資産除去債務が49,386千円であります。

純資産は7,980,677千円となりました。主な内訳は、利益剰余金が5,337,238千円、資本剰余金が2,633,859千円であります。なお、自己資本比率は93.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、5,038,200千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は330,441千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益198,302千円の計上、減損損失の計上404,900千円、売上債権の減少114,436千円、のれん償却額の計上72,552千円がありましたが、未払金の減少265,569千円、法人税等の支払額217,586千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は455,574千円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入3,303,709千円、定期預金の預入による支出2,301,719千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出583,290千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は10,298千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出16,350千円、自己株式の処分による収入6,051千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の業績予想につきましては、2019年12月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2020年6月12日）公表いたしました「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,339,919
売掛金	297,089
その他	51,077
貸倒引当金	△275
流動資産合計	7,687,811
固定資産	
有形固定資産	186,151
無形固定資産	
のれん	486,854
無形固定資産合計	486,854
投資その他の資産	211,066
固定資産合計	884,072
資産合計	8,571,883
負債の部	
流動負債	
買掛金	82,474
1年内返済予定の長期借入金	32,700
未払法人税等	190,479
その他	190,040
流動負債合計	495,694
固定負債	
長期借入金	46,125
資産除去債務	49,386
固定負債合計	95,511
負債合計	591,205
純資産の部	
株主資本	
資本金	30,000
資本剰余金	2,633,859
利益剰余金	5,337,238
自己株式	△32,430
株主資本合計	7,968,667
新株予約権	12,010
純資産合計	7,980,677
負債純資産合計	8,571,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
売上高	2,011,589
売上原価	259,925
売上総利益	1,751,664
販売費及び一般管理費	1,149,725
営業利益	601,938
営業外収益	
受取利息	1,677
その他	820
営業外収益合計	2,497
営業外費用	
支払利息	1,233
営業外費用合計	1,233
経常利益	603,202
特別損失	
減損損失	404,900
特別損失合計	404,900
税金等調整前四半期純利益	198,302
法人税、住民税及び事業税	189,527
法人税等調整額	50,345
法人税等合計	239,872
四半期純損失(△)	△41,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
四半期純損失(△)	△41,570
四半期包括利益	△41,570
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,570
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	198,302
減価償却費	10,999
減損損失	404,900
のれん償却額	72,552
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△828
受取利息及び受取配当金	△1,677
支払利息	1,233
売上債権の増減額(△は増加)	114,436
未収消費税等の増減額(△は増加)	47,166
仕入債務の増減額(△は減少)	△93,049
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,519
未払金の増減額(△は減少)	△265,569
未払費用の増減額(△は減少)	△709
その他	27,307
小計	547,583
利息及び配当金の受取額	1,677
利息の支払額	△1,233
法人税等の支払額	△217,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	330,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,301,719
定期預金の払戻による収入	3,303,709
有形固定資産の取得による支出	△792
資産除去債務の履行による支出	△13,502
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△583,290
敷金及び保証金の差入による支出	△740
敷金及び保証金の回収による収入	51,828
その他	81
投資活動によるキャッシュ・フロー	455,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△16,350
自己株式の処分による収入	6,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	775,717
現金及び現金同等物の期首残高	4,262,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,038,200

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社センジュの株式を取得し、子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

当社は、インターネット・メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。